

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	272100801		
法人名	社会福祉法人つくし会		
事業所名	グループホーム百代ハウス		
所在地 (電話番号)	〒038-2701 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町北浮田町字今須87-1 (電話) 0173-72-7111		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 20日	評価確定日	平成 19年 12月 5日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 1月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	11人, 非常勤 3人, 常勤換算 13.2人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,100 円

### (4) 利用者の概要( 8月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	6 名	要介護2	8 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 89 歳	最低	73 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	鰺ヶ沢町立中央病院・布施病院・湊谷歯科
---------	---------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

独自の運営理念を基に入居者・家族の立場でサービスが提供されている。併設施設との協力体制が整えられており、入居者一人ひとりがその人らしい生活を送れるよう場面に合わせた支援がされている。介護計画は入居者の生活歴や残存機能の活用を取り入れた内容になっている。事業所間の交流や内外の研修(勉強会)に積極的であり、サービスの改善や職員の人材育成にも取り組みがされている。地域行事への参加や広報誌の配布を通して、地域住民に地域密着型サービスとしての理解が深まりつつある。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	重要事項説明書の見直しをし、家族・本人にわかり易いようまとめられている。介護計画においては3ヶ月に1回の見直しをするなど改善に取り組みされている。また地域へのPRに関しては、広報誌の配布や介護教室の開催など認知症の理解を広めるよう働きかけがなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービスに対する認識の確認や意識統一の為、全職員で自己評価を行った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議で、自己評価・外部評価の項目別に報告・検討がされており、改善に向けて取り組まれている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	苦情窓口についての説明がされており、意見投稿箱も設置もされている。面会時に随時状況報告がされており、また広報誌の送付や電話での報告等働きかけがされている。職員は家族からの要望や意見を引き出せるよう意識して対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常生活において、買い物や美容院の利用等外出の支援がされている。近隣住民が少ない環境にあるが、地域行事への参加等の計画・実施が積極的に行われている。小学校の訪問の受入れもされており、地域交流を図る為の取り組みがされている。災害対策についても地域の協力を得られるよう働きかけがされている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「喜びと創造、感動を共に」という入居者の立場にたち、地域に根付いたサービスの提供を内容とした理念をつくり、ホールの中央に掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、朝礼の時に斉唱し、採用時研修においても理念についてお客様・家族の立場にあったケアを提供できるように説明を行っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近隣住民が少ない環境にありながらも、広報や運営推進会議にて地域の情報を集め、地域行事には積極的に向向いている。又、広報誌を作成し家族や近隣に職員が配布し、介護教室の開催の周知や参加を促している。小学校等の訪問も積極的に受け入れしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価においては職員全員に意見を求めて作成されている。外部評価においても結果を職員と話し合い、改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催し、構成員の方は毎回出席されている。自己評価及び外部評価の結果においても報告し意見を貰っている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政のサポートが積極的であり、グループホーム事業交流会を2ヶ月に1回開催している。議題はその都度決め、地域の情報交換やサービスの課題、改善に向けての意見交換をしている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>以前利用されていた入居者がいたこともあり、資料は準備されているが、職員の方の理解が不十分である。</p>		<p>勉強会を開催し、必要なときに支援できる体制作りをしておいてはどうでしょうか。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を行い職員全員に対し周知徹底がなされている。資料も常備され、雑誌・新聞等の記事を抜粋したものを所定の場所に置く等、新しい情報が確認できる体制ができている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書は解りやすくまとめられ、本人・家族に対し納得が得られるように十分な説明が行われている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族が面会に来た際は、生活状況の説明を必ず行っている。又、必要に応じて、文書や電話での報告も行われている。金銭管理においては、領収書と記録を残し、3ヶ月に1回広報と共に通帳のコピーを家族に送っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付窓口が明確に記され、家族への説明が充分に行われている。また、意見投稿箱を設置し、家族の面会時には職員から積極的に声を掛けて意見を頂ける様に取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>毎年、職員の異動は行われているが、引継ぎの時間を設け入居者へのダメージを極力避けるように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>採用時及び継続研修が運営規定にも記載され、定期的なホーム内の研修が行われている。外部の研修においても積極的に参加され、10日以内に報告会を行うなど、全職員に内容が伝わるように取り組んでいる。勉強会も月に1回行われており、職員の資質向上への取り組みがなされている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2ヶ月に1回行われている町のグループホーム事業所交流会に参加され、情報交換が行なわれている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>在宅時の情報提供がされており、入居までにショートステイを利用されるなど徐々に集団生活に対応出来るよう支援がされている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は忙しい中においても、入居者の話を良く聞くことを意識して、日々の業務に取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>					
<p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントにはセンター方式を用い、家族の面会時に情報を得たり、電話で確認するなど個々の状態把握に努めている。また、生活歴等の記録もなされ介護計画に反映されている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>個別の会議が定期的に行われ、職員で充分検討されている。本人は勿論のこと、家族にも意見をいただき介護計画に反映されている。介護計画においても、畑仕事などの本人の希望や出来ることが組み込まれている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の定期的な見直しと、状態の変化に応じて見直しを行っている。本人・家族にも面会に来た際に説明し、意見を頂けるように配慮している。</p>		
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者は通いなれた美容院に通ったり、個々に合わせた対応がなされている。通院においても、ホームで送迎、付き添いをおこなっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には在宅時のかかりつけ医療機関を継続している。主治医をかえる場合は本人・家族に充分説明し納得のもと変更している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	日頃からのバイタルチェックを基にかかりつけ医からの指導を受けている。又、重度化に対応出来るように、職員に対し勉強会を定期的に行い意識を高め、併設施設の看護師の協力において指導を行っている。家族の希望により看取りを行ったこともある。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関することは全て本人・家族の同意を得ている。記録類は、他者の目が届かない場所に管理されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は個々の性格、生活習慣を常に考慮し要望にあわせた対応を心掛けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎週入居者と共に買出しに行き、一緒に下ごしらえを行うなどできる部分を共にしている。職員も同じものを一緒に食し、食べこぼし等はさりげなく対応している。誕生日には希望の食事を提供し、本人の嗜好により代替品も用意している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回の入浴日が決められているが、希望によりいつでも入浴が可能な体制ができている。夜間の入浴においても対応が可能な体制ができている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>掃除、洗濯、草取り、折り紙など本人がこれまでしてきた事を個々の役割として、日々の生活を送っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>月2回のショッピングと毎週日曜日の食材の買出しに出掛けている。また、入居者の希望により買い物に出掛けることもある。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束においては、身体的・精神的な弊害についても理解がされており、職員一人ひとりが意識を持って業務にあたっている。勉強会も開催し職員の知識を深める取り組みがされている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中の施錠は行っていない。徘徊者への対応として、玄関にセンサーを設置し音量にも不快感は感じられない。以前に近所の方が通報してくれた例もあり、地域の協力体制も得られている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>2ヶ月に1回消防訓練を行っている。また、緊急時の連絡体制も明確に記されている。今後は地域の消防団にも協力を得られるよう働きかけている段階である。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日、摂取状況、水分量が記録されている。摂取量により代替品を勧めるなど栄養摂取に努めている。食事の栄養チェックに関しては、母体の栄養士に見てもらっている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症の対応マニュアルを作成し、勉強会を行っている。流行に応じて見直しを行い、追加したり更新する取り組みがなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>採光、温度等不快感は感じられない。共有空間には適度に草花が飾られ、入居者の作品もさりげなく飾られている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>持ち込み品は自由である、個々に使い慣れたものが使用されている。家具の配置も一人ひとりに合わせ工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。